FUKUCHIYAMA GAKUEN

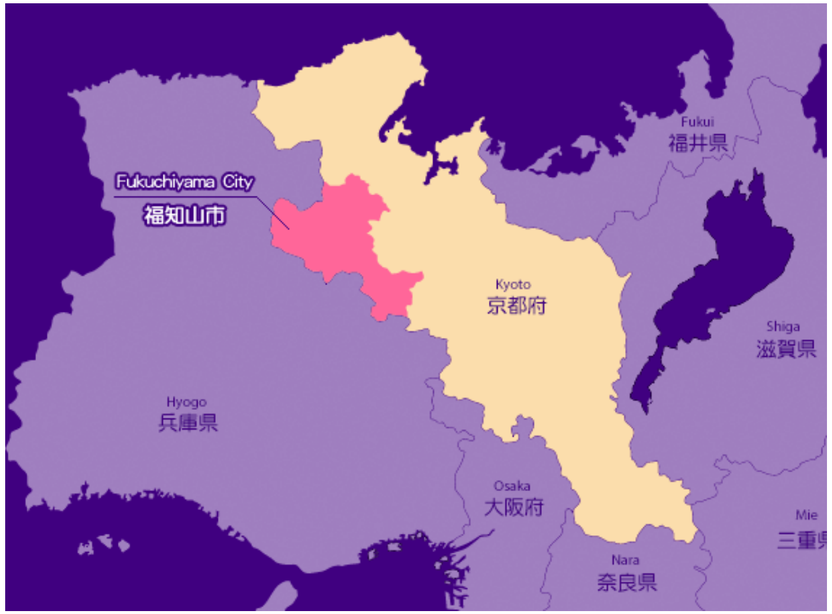
# 適正利益確保と地域づくりへ再投下する好循環経営

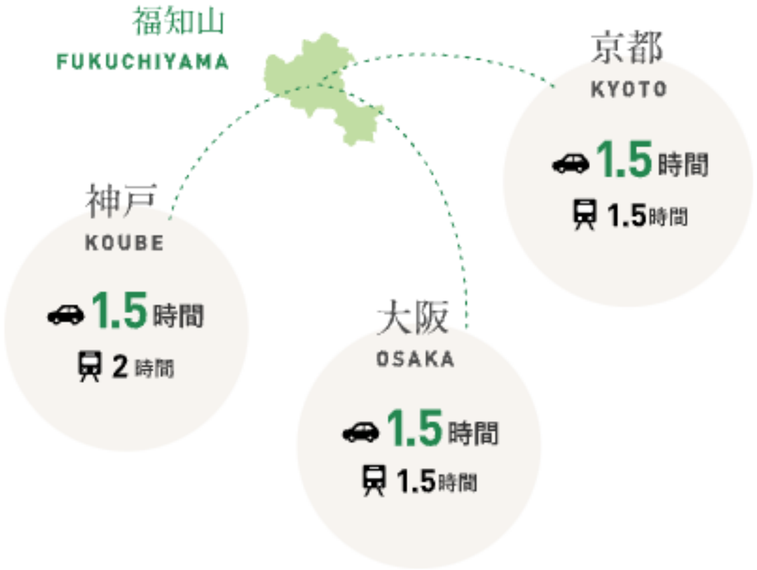
ローカルゼブラを目指して

社会福祉法人福知山学園
理事長　松本修

# 福知山学園の概要

FUKUCHIYAMA GAKUEN




| | |
|---|---|
| 名称 | 社会福祉法人　福知山学園 |
| 設立 | 1959年8月1日 |
| 所在地 | 京都府福知山市三和町千束832 |
| 職員数 | 453名　［R6.4.1］ |
| 収入 | 31億円［R6予算］ |

**事業内容**　＜福知山市長田エリア＞

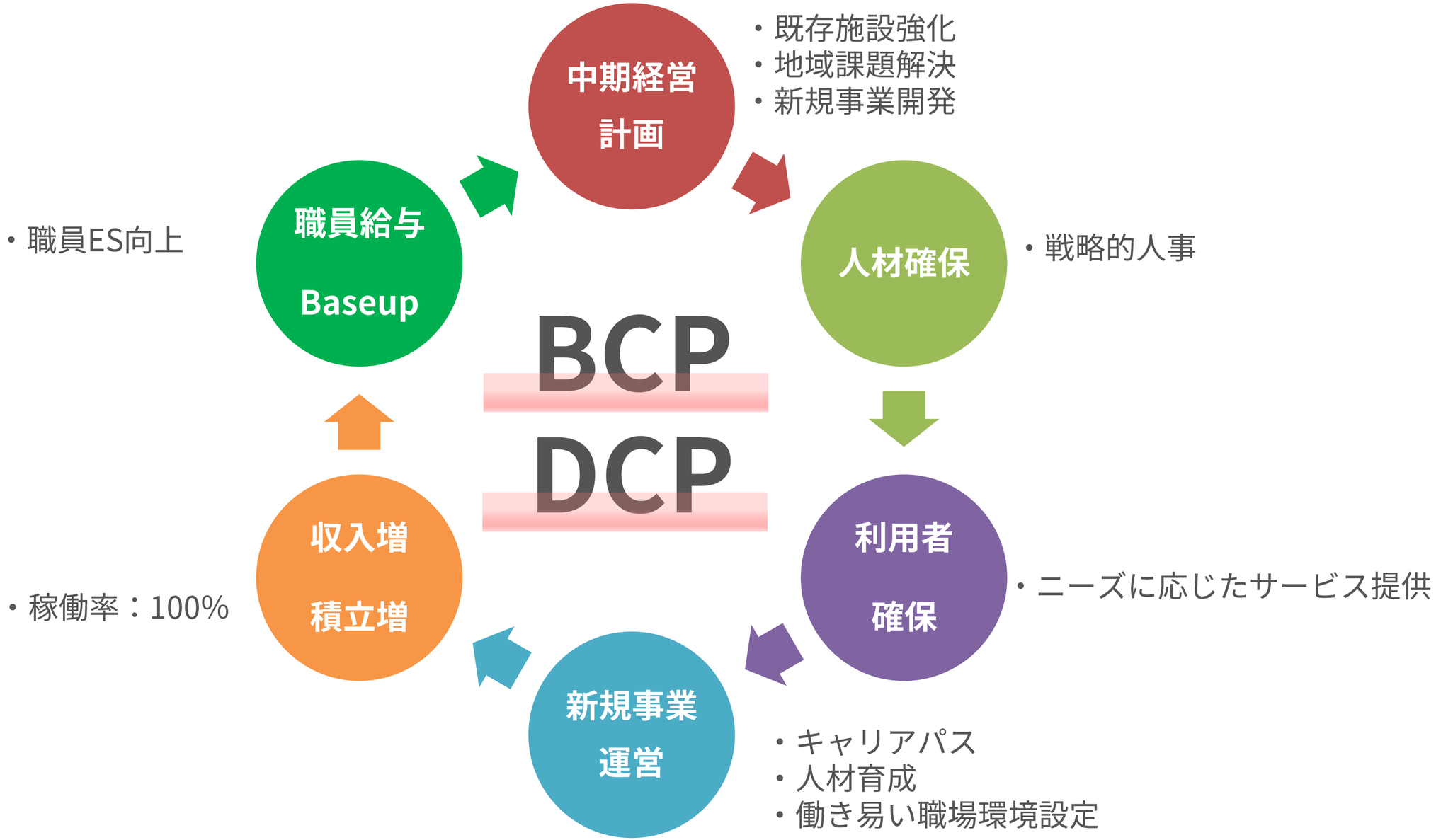
障害者入所施設　2事業所
障害児入所施設　1事業所
多機能型事業所（B型・生活介護）　1事業所
グループホーム（障害者）1拠点6棟
福知山市高齢者福祉センター（通所・居宅）1拠点
福知山市児童発達支援センター　1事業所
福知山市障害者基幹相談支援センター　1事業所
相談支援センター　1事業所

**事業内容**　＜福知山市三和超エリア＞

障害者入所施設　2事業所
生活介護事業所　1事業所
グループホーム（障害者）1拠点6棟
地域密着型介護老人福祉施設　1事業所
セントラルキッチン　1事業所
法人サポートセンター　1事業所

# 好循環経営

FUKUCHIYAMA GAKUEN



FUKUCHIYAMA GAKUEN

## 01 2012－2062　長期経営計画

NEXT50　―50年後の未来ビジョン―

## 02 2012-2015　中期経営計画

FUKUGAKUトータル移行計画

2013.　重度対応型グループホーム　響　［定員：7名］
奏　［定員：7名］
短期：［定員：1名］

2013.　居宅介護事業所　シンフォニー

2014.　むとべ翠光園　児童入所施設　［定員：20名］
障害者支援施設［定員：60名］
短期：［定員：3名］

2014.　福知山市児童発達支援センター　すきっぷ
・児童発達支援事業　［定員：10名］
・放課後等デイサービス事業［定員：10名］
・保育所等訪問支援事業

## 03 2021-2023　中期経営計画

FUKUGAKUバリューアップ計画

2022.2　福知山学園　セントラルキッチン

2022.7　みわ翠光園　障害者支援施設［定員：70名］
短期：［定員：5名］

2023.4　福知山市基幹障害者相談支援センター　受託

2023.11　重度対応型GH　EAST‐SIDE［定員：7名］短期：1名
WEST‐SIDE［定員：7名］短期：1名

2024.5　生活介護事業所　JUMP［定員：40名］

2024.5　GH　NORTH-SIDE　［定員：14名］

2024.5　居宅介護事業所　STEP

# 中期経営計画の基本方針

FUKUCHIYAMA GAKUEN

## 事業戦略目標

**01** 既存事業の強化

**02** 新規事業開発

## 機能別戦略目標

**03** 組織/人材戦略
- 自立的組織の開発
- 働き易い環境づくり

**04** オペレーション／DX戦略

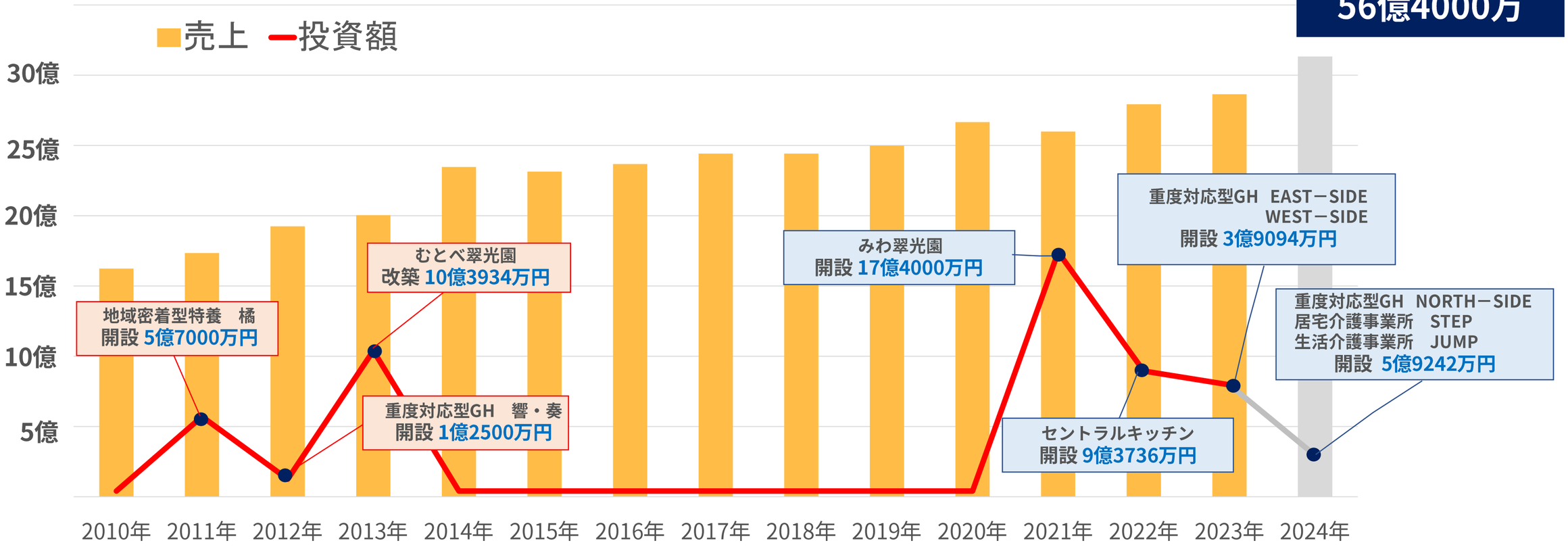
業務の 改善
高度化
効率化
高品質化

**05** ブランディング戦略
- 他者とのアライアンス
- 情報発信
- 企業コラボ等

# 事業展開推移［収入・投資］

FUKUCHIYAMA GAKUEN

**整備投資総額［15年］**
**56億4000万**




**中期計画**
**FUKUGAKUトータル移行計画**
**プラン投資合計：17億3400万円**

**中期計画**
**FUKUGAKUバリューアップ計画**
**プラン投資合計：33億900万円**

**毎年4000万円以上で既存施設の機能強化・環境整備を実施**

# 2022.2.14　福知山学園　セントラルキッチン

**整備費：9億3736万円**

FUKUCHIYAMA GAKUEN

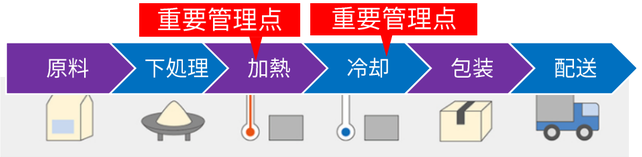
## Concept

| | | |
|---|---|---|
| **HACCPによる安心な食事** | 感染症・食中毒対策 | 温度管理システム（適温の食事提供） |
| **業務省力化・短縮化** | 給食ソフト導入 | CK/SK統一管理による管理体制の強化 |
| **働き方改革** | 勤務体制の標準化（早出業務の軽減） | 子育て世代も安心して働ける環境設定 |

**HACCPでの衛生管理！**

**ニュークックチル導入**

| 危害分析 | | 重要管理点 | | |
|---|---|---|---|---|
| Hazard | Analysis | Critical | Control | Point |
| 危害 | 分析 | 重要 | 管理 | 点 |



用途：給食センター
構造：鉄骨造
階数：地上1階
敷地面積：1,441.68㎡
延床面積：　661.68㎡
配送事業所数：6事業所
製造量：１日1800食×356日
=65万食(年間)

# 2023.7.7　みわ翠光園［高齢障害者特化型入所施設］

**整備費：17億4000万円**

FUKUCHIYAMA GAKUEN

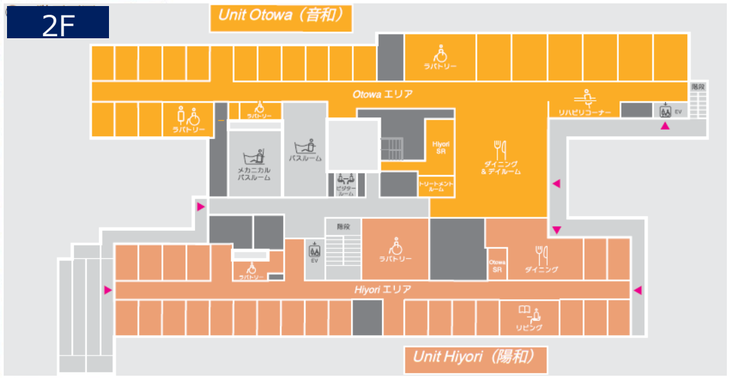
## Concept

| | | |
|---|---|---|
| **24時間の安心づくり** | リビングケア | PT・NS・RD等<br>多職種連携強化 |
| **感染予防ゾーニング** | 職種別・用途別に<br>3カ所の玄関 | ユニットを可動式<br>パーテーション分離 |
| **働き方改革** | A．I．View．Life設置 | XYレールSystem導入 |

用途：障害者支援施設

入所定員：70名
短期入所：5名

建物構造：鉄筋コンクリート
階数　　：地上2階
敷地面積：4,409㎡
延床面積：4,877㎡



# 2023.12　グループホームEAST-SIDE・WEST-SIDE［重度対応型］

**整備費：3億9094万円**

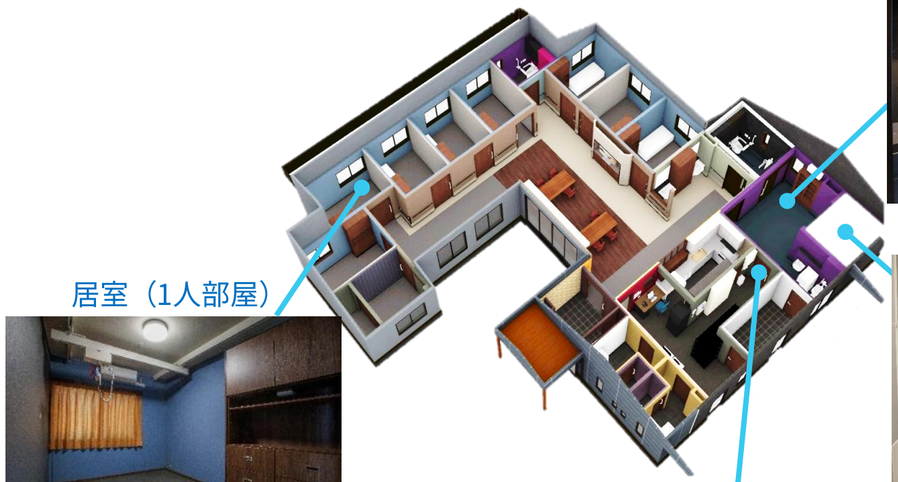
FUKUCHIYAMA GAKUEN

## Concept

| | | |
|---|---|---|
| 24時間Staff常駐 | Staffの夜勤体制の確保 | 有資格者の配置 |
| 栄養課満点・安心食事提供 | セントラルキッチンから食事配送 | 管理栄養士の献立 |
| 働き方改革 | XYレールSystem導入 | リフト浴槽完備 |

用途：グループホーム
名称：EAST - SIDE　/　WEST-SIDE
入居定員：1棟7名
短期入所：1棟1名
構造：木造

階数：地上1階
敷地面積：EAST-SIDE　907.39㎡
　　：WEST-SIDE 753.23㎡
延床面積：2棟　296.46㎡



居室（1人部屋）

XYレールSystem　トイレ

リフト浴槽

### グループホームでの食事

《セントラルキッチンからの配送形態》

●パックが主
　※一部ホテルパン等の場合あり
●１パック＝８人前
●チルド（冷蔵）

**《グループホームにて再加熱》**

| | |
|---|---|
| 再加熱後の食材芯温基準 | 65℃ |
| 加熱後の食材芯温基準 | 85℃ |

● ［再加熱機器］
　スービークッカー（SCW-350HD）
・真空調理用加熱器（湯煎器）
・強制ポンプ方式で加熱ムラがありません
・正確な温度と時間の管理ができます

【スービークッカーで再加熱するメニュー】
・煮物、炒め物など湯煎で形崩れなく再加熱ができるメニュー

【再加熱方法】
・パックのまま

【再加熱設定】
・温度８０℃
・時間３５分（最大）

# 2024.5.24　三和地域生活支援センター

**整備費：5億9242万円**

FUKUCHIYAMA GAKUEN

## Concept

| | | |
|---|---|---|
| 地域生活支援拠点整備 | 法人18事業所登録 | BCP・DCP |
| 社会貢献 | 旧施設の再利用 | 在宅機能機能強化 |
| Level＆Value　ＵＰ | 重度障害者支援（Normalization） | 専門的支援の情報公開 |

| | | |
|---|---|---|
| 用途：グループホーム<br>名称：NORTH-SIDE<br>入居定員：14名<br>構造：鉄筋コンクリート造<br>床面積：528.62㎡ | 用途：通所生活介護事業所<br>名称：JUMP<br>利用定員：60名<br>構造：鉄筋コンクリート造<br>床面積：974.81㎡ | 用途：居宅介護事業所<br>名称：STEP<br>構造：鉄筋コンクリート造 |
| 敷地面積：6444.84㎡ | | |

**＜三和地域生活支援センター平面図＞**

FUKUCHIYAMA GAKUEN

# 今後の人材不足を背景に、業務の効率化・高度化を行う

**介護の見える化**

日頃の介護業務（直接介護・間接介護・管理業務）において、ある程度の単位の業務負担を明確にし、どの点にメスを入れるべきか検討をする必要がある。

**DX戦略の検討**

介護業務及びそれに付随する業務、管理業務のDX化の目的・範囲の明確にし、どのような機能を実装するか検討する必要がある。

**組織体制の強化**

DX化により、生産性向上が実現した際、職員にどのような業務に注力してもらいたいか、職員の役割責任を明確にする必要がある

## 職員ES・エンゲージメント向上

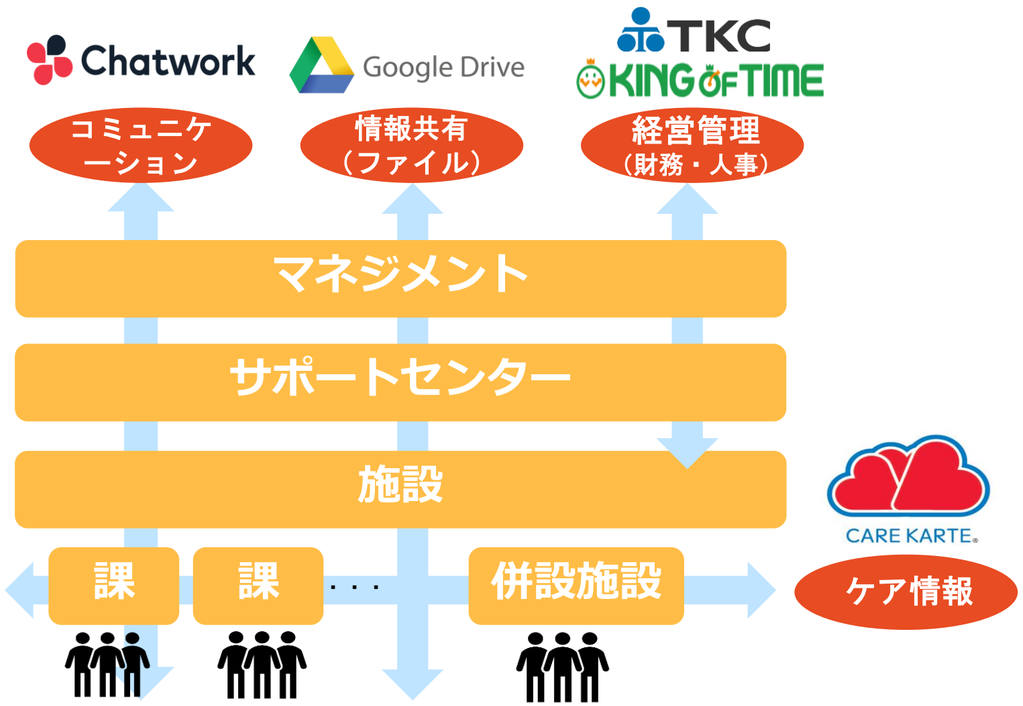
# DX化の実践事例

FUKUCHIYAMA GAKUEN

## 法人規模が拡大している中、複数の施設とその中で働く多職種が抱える情報を共有し、組織運営の円滑化・効率化・行動化の仕組みを実現する

### 情報／ノウハウの円滑な共有と移転の実施方針

・法人サポートセンターと各施設、事業所内の情報共有を図るために、各種ICTツールを導入・展開する
・その仕組みを活かしながら、情報/ノウハウの蓄積や情報共有の場や制度の設計を実施していく




### 求められる仕組み・ポイント

#### 情報共有の仕組みの見直し

・より円滑な情報共有のためにレポートラインの明確化
・既存の報連相のルールを再整理して、効率化を促進
・多職種が抱える情報の蓄積、共有を促進

#### 情報共有インフラの活用促進

・タイムリーな情報発信：chatworkを活用した全職員への情報発信
・円滑な経営管理：TKCを活用したリアルタイムな情報分析
・ケアの改善：ケアカルテを活用したデスクワーク効率化
・データPF活用：GoogleDriveを活用した施設連携とペーパレス化

#### ノウハウ共有・移転の仕組み構築

・会議、委員会、プロジェクト構成の見直し、その責任者・目的を明確にした上で、運営を図る
・熟練職員の技術ノウハウ移転の仕組みの構築

# 意思決定に用いるデータとは？

FUKUCHIYAMA GAKUEN

日々の業務やニーズに存在する様々な課題に対して入手可能なあらゆるデータを適切に分析し、解決策を編み出すのがデータ活用のあるべき姿である。

## 課　題

- 働き易い職場になっているか？
- フォーマットが統一されているのか？<br>手入力作業が増えていないか？
- 問題が発生するリスクを早い段階で把握したい<br>何をチェックするのか？
- 業務を今まで以上に改善したいが、何か手はないか？

✖

## データ

- ▶勤退管理システム　“King　of　time” 導入
- ▶会計システム　“ＴＫＣ・Fintech”導入
- ▶介護見守りシステム　“ＡＩ　View　life”導入
- ▶介護記録・請求システム “CARE　KARTE” 導入

➡

## 解決施策

**<労働条件・環境整備>**
・有給消化率・残業時間
・夜勤回数　・出退勤状況‥etc.

**<業務集約・入力自動化・業務効率向上>**
・分散業務・PC手入力・・etc.

**<介護業務の効率向上・介護職負担軽減>**
・介護の見える化・健康管理の自動化
・リスクマネジメント分析

**<情報共有と介護時間への集中>**
・情報一括管理・記録業務削減
・介護記録から請求業務への連動

## KPIによる迅速な経営判断

# 労務管理における3つの軸

FUKUCHIYAMA GAKUEN

- **労働環境の向上**　心身ともに健康に気持ちよく働ける職場を目指して
- **法令遵守**　社会福祉業界の当り前ではなく企業としての当り前を目指して
- **経営基盤の強化**　一人でも多くの幸せを作るため持続的な経営を目指して

↓

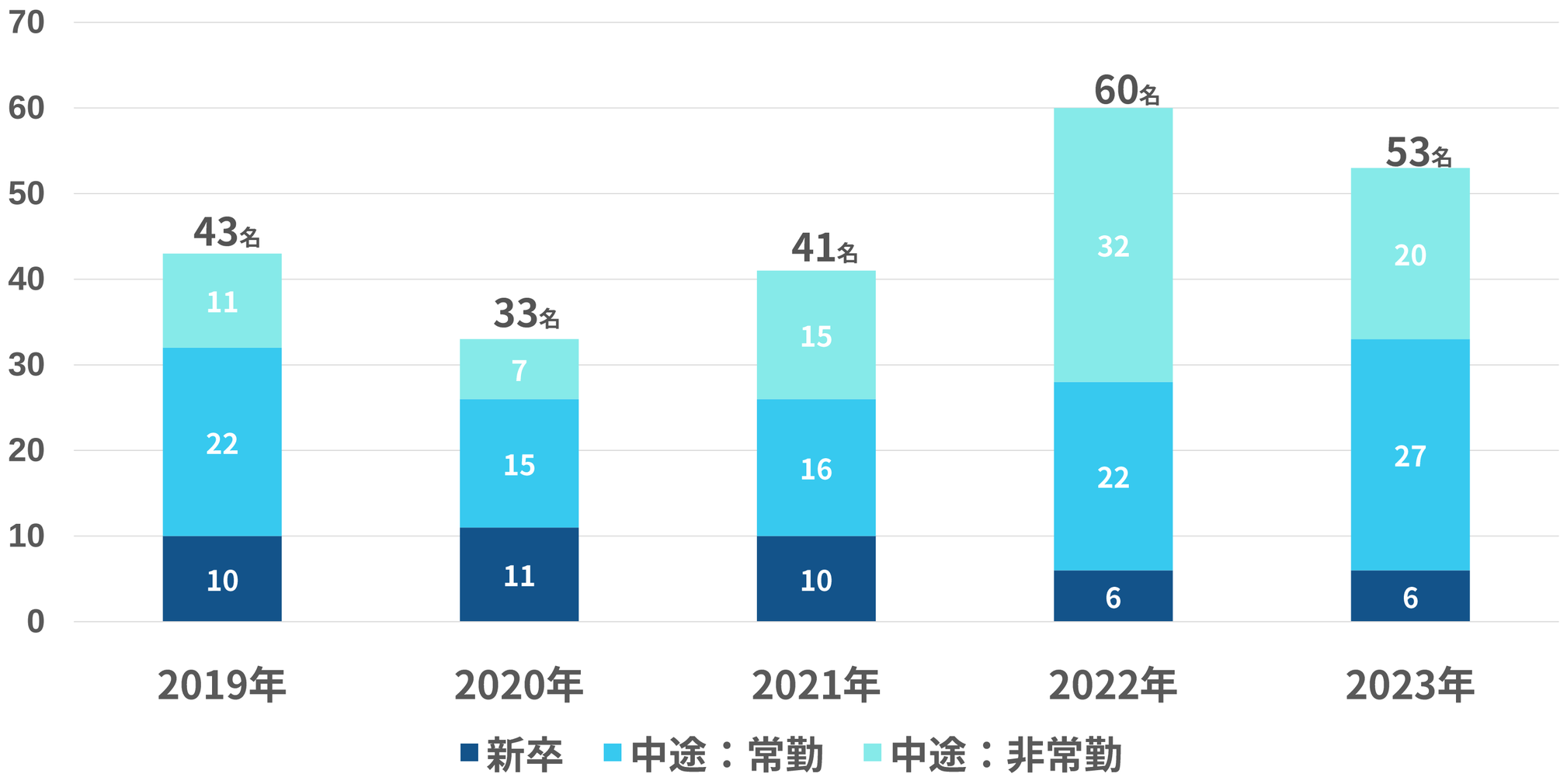
**課題改善**

↓

**経営理念の実現**

# 事業展開に応じた採用状況［5年推移］

FUKUCHIYAMA GAKUEN



# 若者応援・地域活性化

FUKUCHIYAMA GAKUEN

## 現状の課題

日本における奨学金のほとんどは日本学生支援機構の貸与型奨学金で貸与型でも有利子である第二種奨学金の割合が高くなっています。

その背景には、進学率の上昇と学費高騰、家計状況が関係しています。奨学金を借りる学生の割合は上昇する一方で、非正規雇用になったり就業が継続できない状況で奨学金返還が困難になっている若者が急増し社会問題になっています。

## 奨学金返済支援制度の目的

奨学金返済の社会問題化に伴い、企業や地方公共団体の支援も広がりを見せ始めています。次世代を担う若者が描く将来の選択を増やすことまた、U・I・Jターンの学生を増やすことで、福知山市また地域が活性化することを願って、奨学金返済支援制度を構築していきます。

# 収入と人件費［10年推移］

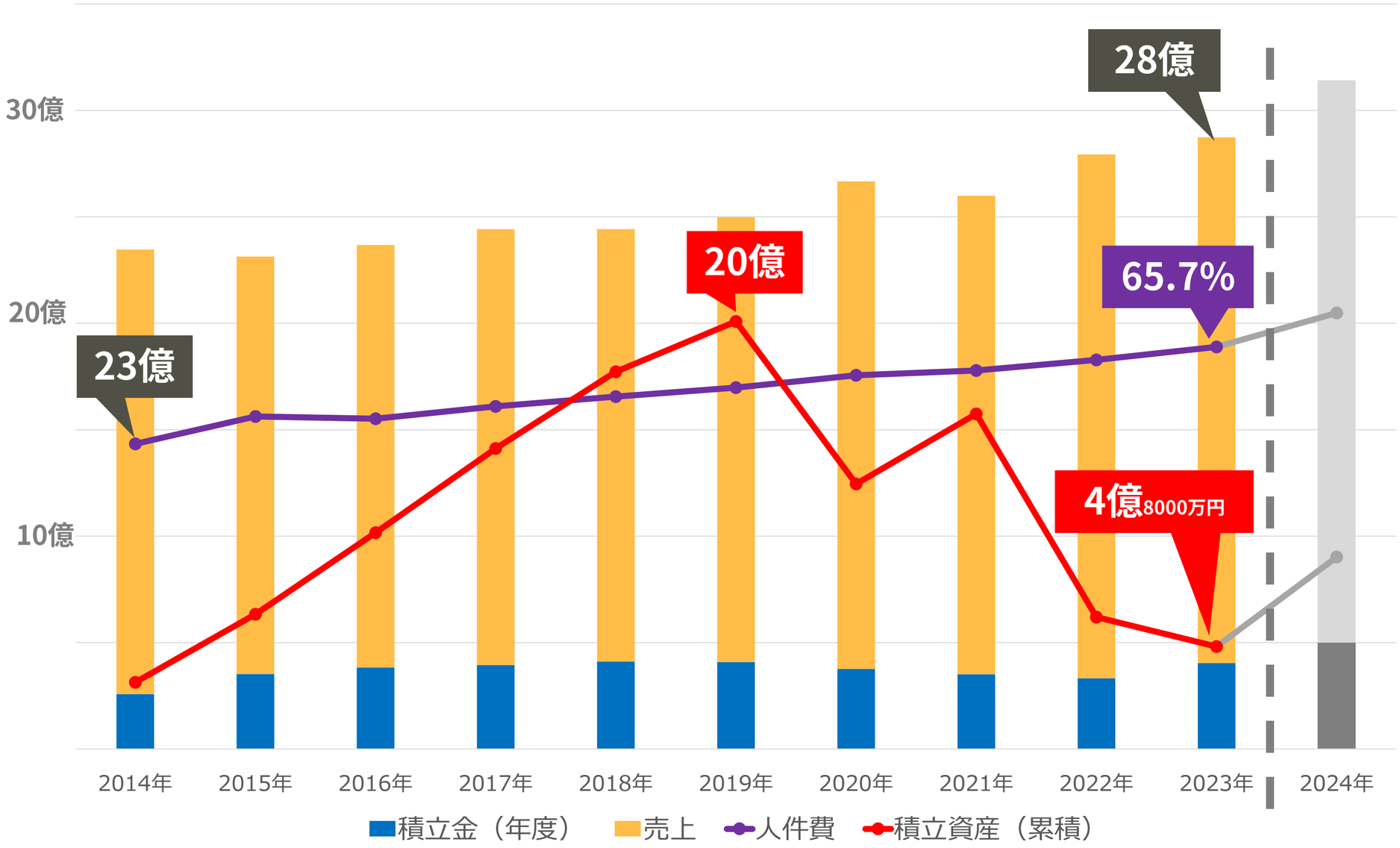
FUKUCHIYAMA GAKUEN

トップライン

利　　益

人件費率

10年間　平均66.1%



# 福知山市地域生活支援拠点整備事業　［登録　18事業所］

FUKUCHIYAMA GAKUEN

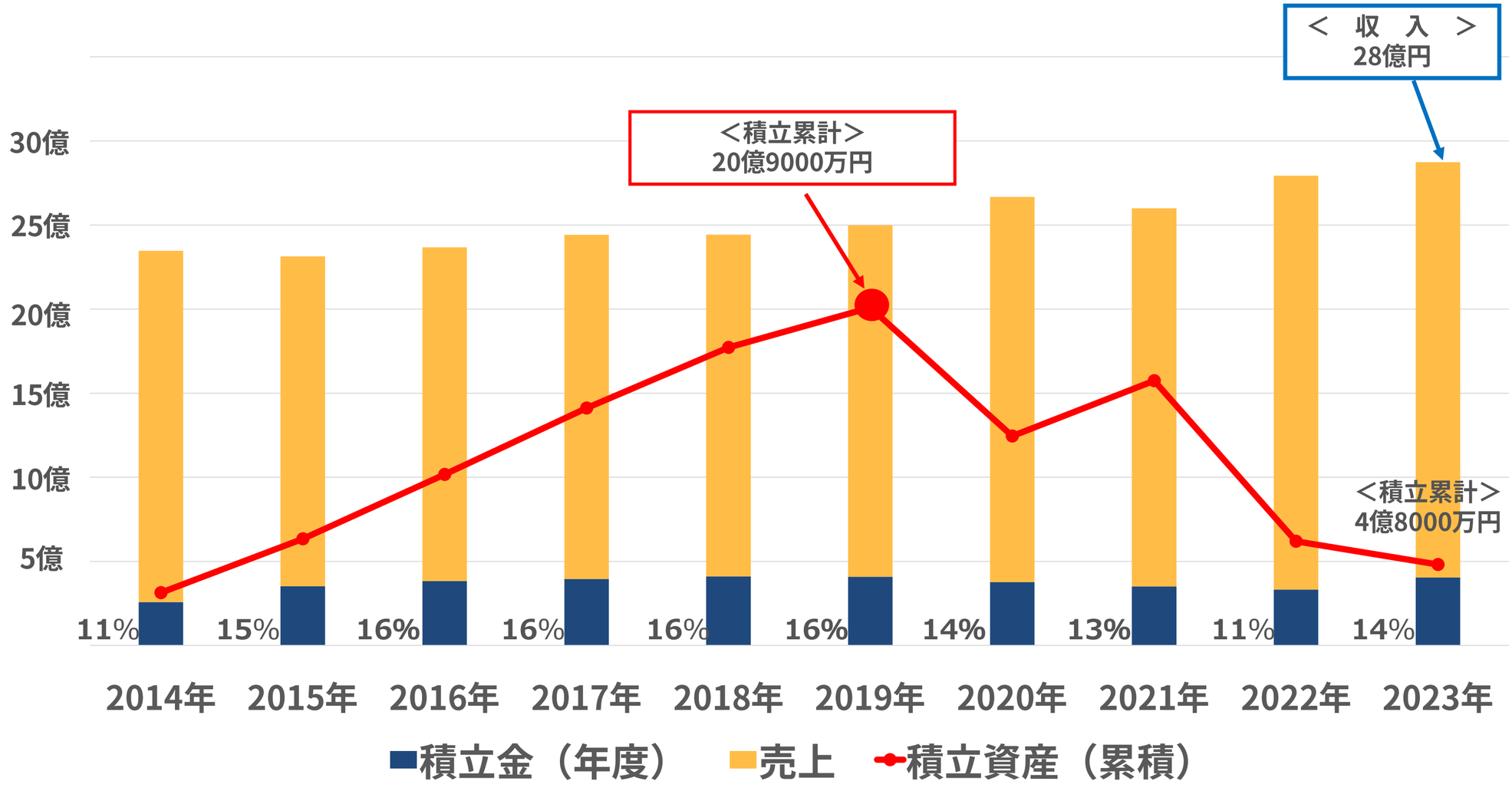
地域生活支援拠点等の整備には、既存の社会資源を生かしつつ、各機関で役割分担を行いながら、障害者等の生活を地域全体で支えるためのサービス提供体制を構築する「面的整備型」と、
5つの機能を集約し、グループホームや障害者支援施設等に付加した「多機能拠点整備型」があります。
福知山市では、複数の事業を展開する規模の大きな法人の拠点をハブとして、既存の市内の障害福祉サービス事業所と連携する「面的整備型」と「多機能拠点整備型」の「ハイブリッド型」を採用しています。

**①相談**
**②緊急時の受入れ・対応**
**③体験の機会・場**
**④専門的人材の確保・育成**
**⑤地域の体制づくり**

| NO | 事業所名 | 事業の種類 | 機能 |
|---|---|---|---|
| 1 | 障がい児・者地域<br>・家庭相談支援センター<br>てくてく | 相談支援 | ▶相談<br>▶緊急時の受入<br>▶体験の機会の場の提供<br>▶地域づくり |
| 2 | 友就館 | 生活介護 | ▶体験の機会・場の提供 |
| 3 | 友就館 | 就労継続支援B型事業 | ▶体験の機会・場の提供 |
| 4 | JUMP | 生活介護 | ▶体験の機会・場の提供 |
| 5 | YOU・ゆう | 共同生活援助 | ▶体験の機会・場の提供 |
| 6 | 〃 | 短期入所 | ▶体験の機会・場の提供<br>▶緊急時の受入れ |
| 7 | すまい・る | 共同生活援助 | ▶体験の機会・場の提供 |
| 8 | 〃 | 生活介護 | ▶体験の機会・場の提供<br>▶緊急時の受入れ |
| 9 | シンフォニー | 居宅介護 | ▶緊急時の受入れ |
| 10 | むとべ翠光園 | 生活介護 | ▶体験の機会・場の提供 |
| 11 | 〃 | 短期入所 | ▶緊急時の受入れ |
| 12 | あまだ翠光園 | 生活介護 | ▶体験の機会・場の提供 |
| 13 | 〃 | 短期入所 | ▶緊急時の受入れ |
| 14 | 〃 | 施設入支援 | ▶専門人材の確保・養成 |
| 15 | おさだの翠光園 | 生活介護 | ▶体験の機会・場の提供 |
| 16 | 〃 | 短期入所 | ▶緊急時の受入れ |
| 17 | みわ翠光園 | 生活介護 | ▶体験の機会・場の提供 |
| 18 | 〃 | 短期入所 | ▶緊急時の受入れ |

# 社会福祉充実計画を準備すること

FUKUCHIYAMA GAKUEN




＜10年積立総額＞
36億円

＜　平　　均　＞
14.5%

# 好循環経営　＜2023年度実績＞

FUKUCHIYAMA GAKUEN

## ＜2023年度　実績＞

| ＜2023年度決算＞ | |
|---|---|
| 収入 | 28億6400万円 |
| ＜利益率＞ | |
| 積立金 | 14% |
| ＜平均残業時間＞ | |
| 年間1人 | 8.8 時間 |
| 有給消化率 | |
| 法人平均 | 81.8% |
| ＜年間採用者数＞ | |
| 常勤・非常勤 | 53名 |
| ＜　離職率　＞ | |
| 正職員 | 6.3% |

| 職員1人　月平均夜勤回数 | |
|---|---|
| 障害者入所施設　A［定員40名］ | 3.7回 |
| 障害者入所施設　B［定員80名］ | 3.6回 |
| 障害者入所施設　C［定員80名］ | 4.0回 |
| 障害者入所施設　D［定員70名］ | 3.9回 |
| 重度対応型グループホーム［定員14名］ | 4.3回 |
| 介護老人福祉施設［定員39名］ | 3.6回 |

## ＜2024年　Base UP＞

| 4大新卒　支援員（社会福祉士等・奨学金） | |
|---|---|
| 基本給 | 214,000円 |
| 資格手当（社・精） | 5000円 |
| 夜勤手当（8000×4） | 32,000円 |
| 通信手当 | 3,000円 |
| 住宅手当（上限） | 18,000円 |
| 通勤手当（上限） | 23,000円 |
| 奨学金返済支援 | 30,000円 |
| 月額 | 325,000円 |

| 4大新卒　支援員（無資格・奨学金） | |
|---|---|
| 基本給 | 207,000円 |
| 夜勤手当（8000×4） | 32,000円 |
| 通信手当 | 3,000円 |
| 住宅手当（上限） | 18,000円 |
| 通勤手当（上限） | 23,000円 |
| 奨学金返済支援 | 30,000円 |
| 月額 | 313,000円 |

| 賞与 | |
|---|---|
| 職種・評価による | 4.8～5.9カ月分 |